まちづくり日記 No.17

「明日を信じる」

仙北市長
門脇　光浩

いくら頑張っても、過去を変えることはできません。でも未来は違います。未来は、今をどう過ごすか、何を信じるかで全く違うものになります。

先日、素晴らしい本と出会うことができました。「未来を変える、ちょっとしたヒント」（小野良太著）です。実は自分は、15年ぐらい前にも同じような本と出会っています。「成功の扉」（マイク・ハーナッキー著）ですが、この本は、自分の人生を能動的にした大きな要因になっています。

さて「未来を変える～ヒント」です。ザックリ要約すると、〝自分や自分の未来に悲観的なイメージを持って生きると、そのような苦しい未来が現実のものとなり、明るい展望を信じると、明るい明日がやって来る〟になります。例示した「成功の扉」は、〝思考も物体に等しく、思考の在り方が明暗の事象を引き寄せる〟と書かれていました。万有引力の法則が働くという推測です（最近は科学的な検証が進んでいます）。さらに例を挙げると、作家ナポレオン・ヒルは、〝人間が考え信じたことは、必ず実現する〟と力説し、愛読者の多いデール・カーネギーも著書で同じことを言っています。

※

さ～て皆さん、どうですか。ウジウジ心配事を抱え込んで毎日を過ごしていませんか。そんなことを考えるから、実際に心配したことが起こってしまうのですよ。明日は良いことが起こると信じ、そのイメージ、ビジョンを頭の中に強く描くのです。「未来を変える～ヒント」には、〝良いビジョンを持つことだけが、未来の成功の扉を開く方法〟とありました。

先ごろ立ち上げた、市の将来ビジョン検討会は、きっと明るい将来ビジョンを策定します。その実現を市民が信じ、火の玉になればきっと実現できます。

仙北市女性消防団員によるコラム

がんばる！　女性消防団

仙北市の女性消防団員が、地域の皆さんに「女性消防団の活動を広く知っていただきたい」「一緒に頑張ってくれる女性の方が増えたらいいな」という思いを込め連載しているコラム。

今回は、大石友子さん（田沢湖梅沢）です。

消防団に入団してから、早くも1年が経ちました。ちょっとしたきっかけから入団し、この1年でいろいろなことを勉強し、学ぶことができました。活動としては、火災予防週間、出初め式、避難訓練のお手伝い、研修等まだまだたくさんありました。

私が入団したときは、女性が6人でしたが、その後二人入団し、8人で頑張っています。普段は普通の「母ちゃん」ですが…、集まったときの顔は「女性消防団」。いろいろな意見があったりで、これからも頑張っていきます。

11月7日から「秋の火災予防週間」が始まりました。始めて参加し、ポンプの点検や地域へのビラ配りを行いました。また、火災報知器が設置されているか見回り、私の地域では、20件中半分以上がまだ設置されていませんでした。来年の6月からは、義務付けられるため、そして火事を早めに発見し、いくらでも防ぐためにも設置をお願いしたいと思います。

命を守るため、特に私が一番心配なのは、一人暮らしのお年寄り、二人で暮されているおじいちゃん、おばあちゃんです。

これからの時期は寒くなり、火を焚くので、私自身も火には気をつけなければならないし、地域の巡回、呼びかけなどをしていきたいと思います。

写真は「仙北市総合防災訓練」